

「むさしの IPE*」 結成 9 年目の活動報告

*IPE : **I**nter**p**rofessional **E**ducation (保健医療福祉専門職連携教育)

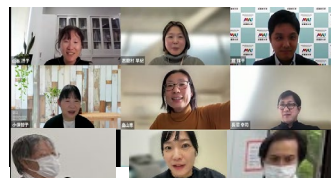
看護学部：山本摂子 舘祥平 長沼幸司

社会福祉学科：小俣智子

薬学部：高尾良洋 益戸智香子 堀井剛史

大学院人間社会研究科人間学専攻言語聴覚コース：畠山恵 志磨村早紀

客員研究員：後藤優子 三觜久美子 嶋田真理子 栃原綾



「むさしの IPE」は保健医療福祉専門職連携を学ぶことを目的に、社会福祉学科、薬学科、言語聴覚士養成課程、看護学科教員が 2016 年から月 1 回のミーティングと年 2 回のイベント開催、建学科目を担当、2022 年度からは学科横断で行う看護学科選択科目「むさしの IPE (医療福祉専門教育と社会の連携教育)」を開講しました。本通信では発展的な 3 年目の授業・イベントの内容についてお伝えいたします。

授業は 9 月 17 日 (火) に武蔵野キャンパスにて薬学・言語聴覚・社会福祉の専門職体験、18 日 (水) に有明キャンパスにて看護の専門職体験と 4 学科学生の混合グループディスカッションに加え、看護師・言語聴覚士・薬剤師・精神保健福祉士によるシンポジウム形式“精神保健医療における専門職体験”の講義を行いました。4 学科学

生 92 名が学び、「実際に交流して専門職連携が実現」「連携を具体的にイメージできる」との相互理解、「医療系でも学習や学びが違うことを実感」「自学科での学びが深まる」などと授業後に述べており、教員・学生ともにしあわせを感じたことが推測されました。

イベントは 4 月 27 日 (土) に“みえない人・呑み込みが難しい人の食事と内服を体験してみよう！”をテーマに武蔵野キャンパスにて開催、医療福祉系学生 33 名が参加、「とろみ付きの食品がまずく辛い」「当事者体験や他学科との交流が楽しい」など、辛さを経験する一方で、体験から学ぶしあわせを実感した様子が伺えました。

今後は、イベントに全学生全教職員にご参加いただき、しあわせをカタチにすることが課題です。「むさしの IPE」イベントにご注目ください。